

DERWENT-ACC-NO: 1987-331297

DERWENT-WEEK: 198747

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Data processing appts. for
printer - has colour mode and
monochrome mode, non-volatile
memory memorising printing
information, and print
processing memory NoAbstract Dwg
0/3

PATENT-ASSIGNEE: NEC CORP[NIDE]

PRIORITY-DATA: 1986JP-0080598 (April 8, 1986)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE
LANGUAGE		MAIN-IPC
JP 62236745 A		October 16, 1987
N/A	009	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-
NO	APPL-DATE	
JP 62236745A	N/A	
1986JP-0080598	April 8, 1986	

INT-CL (IPC): B41J003/00, B41J005/30 ,
G06F003/12 , G06K015/00 ,
H04N001/46

ABSTRACTED-PUB-NO:

EQUIVALENT-ABSTRACTS:

TITLE-TERMS: DATA PROCESS APPARATUS PRINT COLOUR
MODE MONOCHROME MODE NON
VOLATILE MEMORY MEMORY PRINT
INFORMATION PRINT PROCESS MEMORY
NOABSTRACT

ADDL-INDEXING-TERMS:
FACSIMILE

DERWENT-CLASS: P75 T01 T04 W02

EPI-CODES: T01-C05; T04-G; W02-J03; W02-J04;

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-236745

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和62年(1987)10月16日

B 41 J 3/00
5/30
G 06 F 3/12
G 06 K 15/00
H 04 N 1/46

B-8004-2C
7810-2C
7208-5B
7208-5B
7136-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 データ処理装置

⑮ 特 願 昭61-80598

⑯ 出 願 昭61(1986)4月8日

⑰ 発 明 者 齋 藤 康 郎 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑱ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑲ 代 理 人 弁理士 井ノ口 壽

明 細 書

1. 発明の名称

データ処理装置

2. 特許請求の範囲

カラー/モノクロムのいずれかのモードでも印字可能なプリンタと、前記カラー/モノクロムのいずれかのモードで印字すべきかの情報を記憶するための不揮発性メモリと、前記プリンタおよび前記不揮発性メモリを動作させてカラーまたはモノクロムで印字を行わせるための処理/記憶手段とを具備して構成したことを特徴とするデータ処理装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はデータ処理装置の印字モード選択方式に関し、特にカラー/モノクロムの両モードで印字が可能なプリンタにおけるモード選択方式に関する。

(従来の技術)

従来、この種の印字モードの選択は、各アプリ

ケーションプログラムにより個別に指定するのが一般的方式であつた。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来のデータ処理装置で個々のアプリケーションプログラムによるカラー/モノクロム印字モードの指定方式では、個々のアプリケーションプログラムによつて指定された印字モードを容易に変更することが困難であつた。

このため、特にカラーモードでの印字時間がモノクロムモードでの印字時間に比較して著しく長い場合には、アプリケーションによつてカラーモードが指定されていると、カラー印字に長時間を要するという欠点があつた。

本発明の目的は、カラー/モノクロムのいずれかのモードでも印字可能なプリンタが接続されたデータ処理装置の内部にカラー/モノクロムのいずれかのモードで印字すべきかの情報を不揮発性メモリに記憶しておくことによつて上記欠点を除去し、カラーの印字に長時間を要することがないように構成したデータ処理装置を提供することにある。

(問題点を解決するための手段)

本発明によるデータ処理装置は、プリンタと、不揮発性メモリと、処理/記憶手段とを具備して構成したものである。

プリンタは、カラー/モノクロムのいずれのモードでも印字可能なものである。

不揮発性メモリは、カラー/モノクロムのいずれのモードで印字すべきかの情報を記憶するためのものである。

処理/記憶手段は、プリンタおよび不揮発性メモリを動作させてカラー、またはモノクロムで印字を行わせるためのものである。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は、本発明によるデータ処理装置の一実施例を示すブロック図である。第1図において、1は中央処理装置、2は内部バス、3は主記憶装置、4は不揮発性メモリ、5はカラープリンタ、6はキーボード、7はCRTである。

第1図において、中央処理装置1に接続された

るプログラムの制御を司っている。

第3図は、インタプリタ11で特に印字コマンドの実行の概略を示すフローチャートである。第3図において、ステップ14、15によつて接続されているプリンタの種類と不揮発性メモリ4に格納されている印字モードとが判定されて、カラープリンタ5が接続される。不揮発性メモリ4の指定がカラーモードのときに限つて、ステップ16によりカラー印字が実行され、他の場合にはステップ17によりモノクロム印字が実行される。

アプリケーションプログラム領域13よりカラープリンタ5に対する印字コマンドが発行されると、オペレーティングシステム12を介してインタプリタ11によつて印字コマンドの実行解釈が行われる。この際、インタプリタ11によつて不揮発性メモリ4の内容が参照され、その指示に従つてカラーまたはモノクロムモードでの印字が行われる。

なお、不揮発性メモリ4の内容は本データ処理装置が動作中の任意の時点で、オペレーティング

内部バス2には主記憶装置3と、不揮発性メモリ4と、カラープリンタ5と、キーボード6と、CRT7とが接続されている。

主記憶装置3に格納されている内容は、本発明によるデータ処理装置の電源を切断することにより、すべて消滅するが、不揮発性メモリ4の内容は電源切断後も保持される。

カラープリンタ5は、中央処理装置1の指示により熱色のみによるモノクロム印字と、7色のカラーによるカラー印字とのいずれかの印字モードを指定することにより動作させることが可能である。

第2図は、主記憶装置3の内部のメモリ割当てを示す説明図である。第2図において、11はインタプリタ、12はオペレーティングシステム、13はアプリケーションプログラム領域である。

主記憶装置3の内容は、インタプリタ11によつて実行解釈されるアセンブラ言語で記述されている。オペレーティングシステム12は、アプリケーションプログラム領域13に格納されてい

システム12およびインタプリタ11の働きにより、キーボード6およびCRT7を使用して替換することができる。

(発明の効果)

以上説明したように本発明は、カラー/モノクロムのいずれのモードで印字すべきかの情報を不揮発性メモリに格納させることにより、アプリケーションプログラムによつて特別な処理を実行させることなく、容易に両モードの切替えを行うことができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明によるデータ処理装置の一実施例を示すブロック図である。

第2図は、第1図に示すデータ処理装置の主記憶装置のメモリ割当てを示す説明図である。

第3図は、第1図に示すデータ処理装置において、印字コマンド実行解釈の処理フローの概略を示すフローチャートである。

1・・・中央処理装置

2・・・内部バス

- 3・・・主記憶装置
- 4・・・不揮発性メモリ
- 5・・・カラープリンタ
- 6・・・キーボード
- 7・・・CRT
- 11・・・インタプリタ
- 12・・・オペレーティングシステム
- 13・・・アプリケーションプログラム領域
- 14～17・・・プログラムステップ

図 1

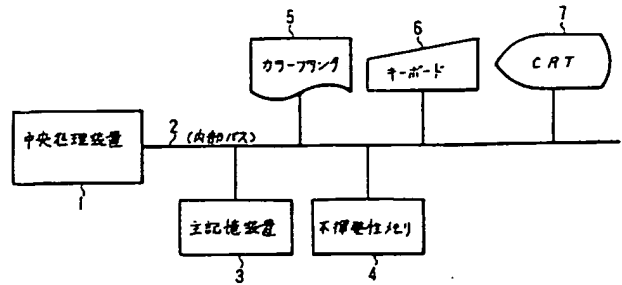
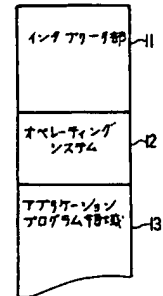


図 2



特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 井ノ口 壽

図 3

